

石岡市の お財布は…



市の財政は、金額も大きく、専門用語が多いため、分かりにくいものです。

そこで、平成27年度の石岡市一般会計決算の1億円を家計簿の1万円に置き換え、石岡市の財布をイメージしてみました。

また、石岡市の財政はどのように変わったのか、市町合併直後（平成18年度決算）の状況と比較してみました。

■問い合わせ

財政課

☎23・1111（内線234）

収入

給料（市税）	96万円 (△1)
パート収入 (使用料・負担金など)	17万円 (±0)
親からの仕送り (地方交付税・消費税交付金など)	91万円 (+11)
親からの援助 (国庫支出金・県支出金)	69万円 (+36)
ローン借り入れ（市債）	32万円 (+7)
貯金の取り崩し (基金繰入金)	16万円 (+14)
前年度からの繰越（繰越金）	10万円 (+4)
合計	331万円 (+71)

支出

食費（人件費）	49万円 (△12)
生活費（物件費）	38万円 (+5)
医療費・養育費（扶助費）	64万円 (+29)
家の補修代（維持補修費）	3万円 (+1)
ローンの返済（公債費）	30万円 (+1)
自治会費など（補助費など）	26万円 (±0)
家の増改築・家電の購入 (普通建設事業費など)	56万円 (+26)
貯金（積立金・貸付金など）	10万円 (+8)
子どもへの仕送り (国保・介護・下水道などへの繰出金)	41万円 (+8)
合計	317万円 (+66)

貯金とローン残高

貯金残高（基金残高）	94万円 (+44)
ローン残高（市債残高）	298万円 (+17)

※（ ）内は平成18年度との比較です。△はマイナスを表します。
※ 基金・市債とも、一般会計に係る分の残高です。また、基金からは、定額運用基金を除いています。

平成18年度と
比べると

収入

平成18年度と比べて給料が少し減りました。依然として親からの援助や仕送りに頼っている状態です。自分で確保できる収入は、給料とパート収入・貯金の取り崩しを合わせて4割程度です。

支出

平成18年度と比べて、医療費や家の増改築・家電の購入が増えています。また、子どもへの仕送りや貯金も増えています。そのため食費を抑えて赤字にならないようにしています。

貯金とローンの残高

貯金を増やしなから、ローンの返済をしています。引き続き、ローン残高の管理が必要です。

